

# 高次脳機能障害とは

病気や事故などが原因で脳が損傷し、言語・思考・記憶・行為・学習・注意などに、機能障害が起きた状態を高次脳機能障害といいます。

思いもよらない事故や病気に遭遇して、様々な不安や悩み、戸惑い、ご苦労を抱えていませんか？

身体的なケガや病状は他人からみてもわかりますが、脳の傷は見えずわかりません。

当事者本人も自分の症状に気づきにくく、前と変わりはないと思っていることも多いです。

性格が変わった、何が変わったかわからないけど色々うまくできなくなった、…など

外見上は問題ないように見えても、脳を損傷したことによって「高次脳機能障害」の症状があるかもしれません。

病院でのリハビリが終了し、退院して家庭での生活や仕事に復帰した後に、

現れる変化に本人や家族、周囲が戸惑い、誤解し、しばしば対人場面でトラブルになることもあります。

## ひとりで悩まずに相談してみませんか？

周りのサポートや対応を知ることにより、生活がしやすくなることがあります。

できること、できないことがわかり、就労につながることもあります。



事故や病気のあと何か変わったと感じたら見えにくい障害（高次脳機能障害）かもしれません。



平成28年10月30日(日)

午後1時15分～午後4時00分  
(受付開始12時45分～)



ハピネスふくちやま

参加費

無料

(事前申込不要)

- ・どなたでもご参加いただけますのでぜひお越し下さい。
- ・要約筆記あります



一般社団法人 日本損害保険協会 助成

第17回 脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会

高次脳機能障害(事故・脳卒中など)

ひと  
退院後の人間を支える



講演「高次脳機能障害とともに生きる」

医療法人  
エスポアール出雲クリニック理事長・院長  
高橋 幸男 先生

医療・福祉・家族会によるリレートーク

プロフィール

医療法人 エスポアール出雲クリニック 理事長・院長。

島根県出雲市生まれ、1974年東北大学医学部卒業。島根大学医学部臨床教授。

1987年島根県立湖陵病院をへて、精神科医療に携わる中で精神科医療には外来診療が大切との思いから、

1991年にエスポアール出雲クリニックを開院。1993年に認知症老人デイケア「小山のおうち」、

1999年には精神科デイケア「ピノキオ」、2006年には高次脳機能障害デイケア「きらり」を併設。著書「いのちを抱きしめて」(NHK出版)など多数。

今回は、高次脳機能障害者の方やご家族などを地域で支えていくために必要なことについて、わかりやすくお話していただきます。

お問い合わせ先

福知山市

TEL: 0773-24-7017

京都府リハビリテーション支援センター

TEL: 075-221-2611



主催: 脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会京都実行委員会

後援: 福知山市、一般社団法人 京都府医師会、公益社団法人 京都府看護協会、一般社団法人 京都府理学療法士会、一般社団法人 京都府作業療法士会、一般社団法人 京都府言語聴覚士会、

京都府精神保健福祉士協会、京都府臨床心理士会、社団法人 京都社会福祉士会、公益社団法人 京都府介護支援専門員会、社会福祉法人 京都府社会福祉協議会、京都府教育委員会、京都医療ソーシャルワーカー協会

協力: 京都府 中丹西圏地域リハビリテーション支援センター、中丹圏域障害者自立支援協議会、中丹高次脳機能障害者と家族の会「さくら」